公式試合記録



公益社団法人 日本ホッケー協会

大会名: 第37回 全日本大学ホッケー王座決定戦・東西交流戦

試合番号 備考 月 日 時間 場所 ピッチ 6 30 平成 30 立命館OICフィールド М9 男子 準決勝 14:00 人工芝(W) 合 計 0 チーム名 チーム名 0 2Q 0 立命館大学 福井工業大学 30 0 0 先発 背番号 氏 G▲ Y R● 背番号 G▲ Y R● 名 先発 氏 1 1 c 畑野 修平 / 1 GK 渡邊 廉也 2 GK 青木 稔和 2 石山 央武 3 近藤 辰徳 冨田 竜平 4 池田 瑞 4 c 和田 吉広 西野 樹 世古 拓弥 5 5 16 6 5 6 日置 元勇 6 福井 智章 7 1 島田 麗央 森作 真士 5 8 渡部 楽夢 8 穴井 隼斗 9 杉山 惇士 9 水田 中花 惇 1 10 加藤 凌聖 6 10 1 11 渡辺 晃大 11 笹木 朝光 平澤 駿 野村 烈瑠 12 gk 12 6 谷川 和也 51 13 高木 温樹 13 14 森下 雄太 15 酒田 蒼大 中上 裕規 渡部 佑太 18 15 31 20 渡邊 大輝 17 榊 健太 26 24 東 春樹 19 18 青山 将也 10 25 野村 新 為国 龍次 佐々木 秀太 5 19 27 20 沖原 爽一郎 20 9 28 古場 聖人 21 藤島 来葵 渡辺 龍生 川原 大和 22 30 渡辺 恵大 20 9 40 時間 No. 種類 福井工 立 19 FG РC 11 53 21 命館大学 工業大学 10 FG 14 点 43 3 FG 7 2 7 10 9 8 6 5 4 3 1 順番 守備者 先・後 先·後 守備者 順番 1 2 3 4 5 6 8 9 s の戦 No. No. チャレンジ権 61 so so 成功○/不成功× 監督 監督 山口 修一郎 朱 光珍 アンパイア 渡邉 道彦 アンパイア 児玉 茂樹 R.アンパイア 高橋 英行 V. アンパイア S.アンパイア 藤原 真由美 S.アンパイア 山田 恵美 ジャッジ ジャッジ 藤原 皐月 森山 悠佑 ジャッジ 柳原 愛加音 ТО 竹内 芳郎 特記事項:

第37回全日本大学ホッケー王座決定戦・東西交流戦補助記録・戦評

試合番号 M9 男		6月30日	立命館O	ICフィールド		
立命	館大学		4(2-0 0-0 1-0 1-0)0	福井工業大学

福井工業大学のセンターパスで試合が開始された。開始早々1分、立命館#4池田のサークル内への打ち込みからPCを獲得する。鋭いフリックを放つも、福井工業のGK#1高野が素早い反応を見せ得点を許さない。さらに攻め続ける立命館は相手陣内でのポゼッションを高めていく。11分、立命館#21藤島の打ち込みに#19為国がタッチシュートを決め先制点を挙げる。続いて14分、左サイドに上がった立命館#8渡部の打ち込みに#10加藤が反応し、タッチシュートを決めた。試合は2-0、立命館が2点リードのまま第1Qが終了した。

第2Q、何とか追いつきたい福井工業は23分、スピードに乗った#5世古が左サイドからセンタリングをするも、フリーだった#11番笹木に届かず惜しくも得点には至らなかった。試合は依然、立命館がペースを握ったまま、第2Qが終了した。

第3Q、40分、福井工#30渡辺にイエローカードが出され、福井工は苦しい展開に。更に攻め続ける立命館は43分、#3近藤がこぼれ球からシュートを決め、福井工を突き放す3点目の追加点を挙げた。試合は3-0と立命館が3点リードのまま第3Qが終了した。

第4Q、攻めの手を休めない立命館は53分、PCを獲得。#21藤島のフリックシュートが決まりダメ押しの追加点を挙げた。1点が欲しい福井工だったが反撃の糸口が掴めず、試合は4-0と立命館が勝利した。

大学名	時間	得点	アシスト	種類	大学名	時間	得点	アシスト	種類
立命館	11	19		FG					
立命館	14	10		FG					
立命館	43	3		FG					
立命館	53	21		PC					

	第1Q		第2Q		第3Q		第4Q		第1Q	第2Q	第3Q	第4Q
大学名	PC	シュート	PC	シュート	PC	シュート	PC	シュート	PS	PS	PS	PS
大学												
大学												

SO戦	1	2	3	4	5			合計
大学								
大学								